

人権参観、懇談にご来校いただき有難うございました。



先週金曜日 5 時間目の人権参観はいかがでしたでしょうか？どの学年、クラスも算数や国語といった教科学習とは一味違った授業が展開されていました。

手話の学習や、アイマスク体験を通して聴覚や視覚のハンディがどんなものなのかを体感することや、「世界がもし 100 人の村だったら」という教材をアレンジして、今の社会のもつ構造的な矛盾に目を向けさせ「不合理」なことを感じるということを経験したり等々、を各学年の子どもたちの段階に応じて学習していました。

すべての人がいきいきと毎日を過ごすために不可欠なことは、自分だけでなく様々な立場の人たちとともに『ともに生きていく』ことであり、その根底には『お互いが本当に相手のことを理解し、その立場にたって』行動することが求められていることに気づいてくれることを願っています。

そんな中で、1年生が参観で見せてくれたのは「自分の名前」に込められた家族の方の様々な「思い」を聞き取ったことを発表するというものでした。私も参観授業を順に見てまわって、次のクラスへ行こうかと思っていたのですが、つつい子どもが発表している様子を見てしまいました。

自分の名前に様々な人の、様々な思いや願いが込められていることを知ることは、自分自身を知る第一歩であると同時に、そのことによって子どもたちが、どの子どもも「自分がかけがえのない大切な存在」（いわゆる『自己肯定感(セルフエスティーム)』）であるということを感じてくれると思います。

子どもたちに限りません、私たち教師を含む大人にとっても、様々な場面で常に「相手のことを思う、気遣う」ことを意識することはとても大切なことです。

ともすれば、つつい自分本位になりがちですが、何事につけ「一呼吸おいて」冷静に状況を見ることで、自分だけでなく相手のことを考える心のゆとりが生まれるのではないのでしょうか。それが、「人権」を考える第一歩だと思います。

☆☆☆☆ 教育長の学校訪問がありました。

参観の前日、25日(木)の午前中に、大源教育長が本校に来られました。これは、特別なことではなく、大源教育長の考えで、本市のすべての小中学校を訪問して、普段の学校の様子、子どもたちの様子を見たいという思いで、市内の学校を順次訪問されているのです。

たまたま、本校へは先週木曜日に来られました。10時半頃に来校されたあと、しばらくの間、校長室で本校の子どもたちの様子や学校の今の様子についてお話をさせていただきました。

そのあと、校内をまわり、色々な学年、クラスの授業を見てまわられました。その中で、4時間目に4年生が音楽の授業の中で学習発表会で歌った曲を披露してくれました。

それを最後まで聴いておられた大源教育長はいたく感動されていました。また、この日久しぶりに「登校」していたレイ君も教育長に大変かわいがってもらいとても楽しそうでした。

今の豊南小学校の子どもたちが落ち着いて授業を受けている様子や、楽しそうな表情で過ごしている子どもたちの様子を見て笑顔で帰られました。また、機会があれば来られると思います。

学校で何が大切かということ、やはり、まずは「子どもたちが落ち着いて学校生活をおくることができる」ことだというのを改めて実感たのでした。(4年生の皆さん有難う！)

☆☆☆☆ 今日(29日)、3・4時間目に、池田にある「ダイハツ工業」から出前授業

で5年生に体験授業をしていただきました！



DAIHATSU

今日、3・4時間目に体育館で5年生が池田に本社がある「ダイハツ工業」が数年前から取り組んでいる「車作りを理解してもらうための」出前授業を受けました。体育館を覗くと、塗装や、プレス(板金加工)、組立て等々といった車作りの様々な工程を再現したブースがあり、そこで専属のスタッフさんが順番にまわってきた子どもたちを相手に説明と体験をさせてくれていました。授業を受けていた5年生の子どもたちは全員、素晴らしい笑顔でスタッフの方からの話を聞き、体験をしていました。こういった「体験型」の授業の醍醐味です！

To be continued (次号に続きます)